
華子のケツをけっとばす！

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

華子のケツをけつとばす！

【Nコード】

N01200

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

試作品。トム・ベーカー「ブタをけつとばした少年」（新潮社、2000）の影響。

(前書き)

前書きがない！どこだ！

探偵イハラは秘書華子のでかいケツを見てるとけとばしたくてけとばしたくてたまらなくなる。

華子は過去に何回かけとばされてる経験があるので警戒している。コピーをとるときも決して背後をイハラに見せない。ちらちらイハラの方を見ながらコピーをとる。

しかし、ある日、窓の外を（今人気の俳優の名前）に激似のイケ面が歩いていたので華子はうっとりとして、つい後ろにいるイハラに對しノーガードであった。

イハラは助走をし、華子のでかつケツを思い切りけとばした。すると、華子はぶつとび、窓を飛び出した。

イケ面の頭上を飛び越していき、走っていた軽自動車にはねられた。そしてトラックの荷台に着地し、それで新潟まで運ばれた。

華子は、そんな経験もあってか、ひどく被害妄想にかられていた。休日に街を歩いていても、誰かにケツをけられるんじゃないかとびくびくしていた。

ハンドバッグでケツを隠し歩いていた。

しかし、男というのは不思議なものである。イハラでなくても、華子のでかつケツを見てるとけとばしたくなる。おまけに華子はハンドバッグでケツを隠しており、それがますます男のけとばし欲を刺激する。

その日、華子はトイレを探していた。

華子がおろおろと探していたら、後ろを歩いていた男の子がムズムズしてきて、華子のケツを思い切りけとばした。ぶりぶりぶりぶりぶり。

これ以上は書けません。子供の教育に悪いです。路上でわんわん泣く華子。頭をなでる男の子。ある秋の惨劇。午後

の日差し。

（後書き）

後書きが消えた！いったいなぜ！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0120o/>

華子のケツをけつとばす！

2010年11月23日03時45分発行